

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月6日

上場会社名 星光PMC株式会社
 コード番号 4963 URL <http://www.seikopmc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乗越 厚生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 伊佐木 融
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 03-6202-7331

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	6,486	—	298	—	318	—	191	—
20年3月期第1四半期	5,918	0.1	134	△36.8	142	△36.6	56	△56.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	6.24	—
20年3月期第1四半期	1.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	26,301	18,112	18,112	68.9	68.9	590.54
20年3月期	26,359	18,176	18,176	69.0	69.0	592.04

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 18,112百万円 20年3月期 18,176百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,370	—	480	—	510	—	230	—	7.49
通期	27,460	9.4	1,100	74.7	1,150	75.4	650	165.5	21.17

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 30,743,604株 20年3月期 30,743,604株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 73,149株 20年3月期 41,549株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 30,676,620株 20年3月期第1四半期 30,740,570株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2)業績予想(平成20年5月9日発表)の見直しは行っていません。

(3)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、長期化する原油価格・素材価格の高騰や米国経済の減速が企業収益を圧迫し、物価上昇による消費の停滞も加わって、景気は楽観を許さぬ状態で推移しました。

当社グループの主要販売先である製紙業界・印刷インキ業界及び事務機器業界におきましても、原油・ナフサ価格や素材価格の高騰による原燃料高が大きな利益圧迫要因となりました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、需要業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入することによって売上増加に努め、海外にあっては、中国子会社を拠点として、急成長の続く中国での製紙用薬品事業を積極的に展開し、事業の拡大に努めました。その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、6,486百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

利益面では、売上高の増加、全社を挙げてのコストダウンに加え、中国事業における大幅な収益改善により、営業利益は298百万円（前年同期比122.2%増）、経常利益は318百万円（前年同期比122.9%増）、四半期純利益は、191百万円（前年同期比237.4%増）となりました。

なお、前期の第1四半期業績数値は四半期会計基準に則したものではないため、本連結経営成績に関する定性的情報における前年同期比の数値は、便宜上の比較として掲載した参考数値であります。

（事業のセグメント別の業績）

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第1四半期連結会計期間の紙・板紙の国内生産は780万トンと前年同期比微増に止まりました。国内市場が伸び悩む中、当社グループは、中国市場での積極的な拡販を中心に、サイズ剤・紙力増強剤等の売上増加に努めた結果、当事業の売上高は、4,676百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

利益面では、売上高の増加、中国事業における大幅な収益改善等により、営業利益は241百万円（前年同期比201.1%増）となりました。

・印刷インキ用・記録材料用樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、印刷インキの生産はほぼ横ばいでありました。当社グループにおいては、オフセットインキ用樹脂の売上高が増加しました。事務機器業界におきましては、需要は堅調に推移したものの、当社グループの記録材料用樹脂の売上高は横ばいに止まりました。その結果、当事業の売上高は、1,809百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

利益面では、売上高の増加等により営業利益は56百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

（流動資産）

受取手形及び売掛金の増加及び原材料の減少等により流動資産は13,607百万円（前連結会計年度末比53百万円増）となりました。

（固定資産）

減価償却の進捗による有形固定資産の減少等により固定資産は12,693百万円（前連結会計年度末比111百万円減）となりました。

（流動負債）

支払手形及び買掛金の減少及び短期借入金の増加等により流動負債は7,408百万円（前連結会計年度末比35百万円増）となりました。

（固定負債）

退職給付引当金の減少等により固定負債は780百万円（前連結会計年度末比28百万円減）となりました。

（純資産）

四半期純利益の計上、利益の配当、人民元に対する円高の進行に伴う為替換算調整勘定の減少等により純資産は18,112百万円（前連結会計年度末比64百万円減）となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は68.9%となりました。また、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金を合計した有利子負債残高988百万円を自己資本で除した倍率（D/Eレシオ）は0.05倍となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較してほぼ同額の492百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、35百万円の資金の獲得となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益の計上312百万円、減価償却費の計上301百万円、売上債権の増加261百万円、未払賞与の減少277百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、210百万円の資金の支出となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出206百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、195百万円の資金の獲得となりました。これは主として短期借入金の増加額380百万円、配当金の支払額136百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

上記の業績予想につきましては、平成20年5月9日発表の数値と同じであり、変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等を使用して算定しております。

②棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関し、実地棚卸を省略し前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法に基づく低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③リース取引に関する会計基準の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	492,153	492,473
受取手形及び売掛金	8,811,194	8,588,649
商品	37,071	32,583
製品	2,136,355	2,110,385
原材料	758,646	873,417
仕掛品	321,132	329,328
その他	1,054,588	1,130,828
貸倒引当金	3,678	3,627
流動資産合計	13,607,464	13,554,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,660,081	3,759,197
機械装置及び運搬具 (純額)	2,957,042	2,914,825
土地	3,994,714	3,994,714
その他 (純額)	563,092	673,763
有形固定資産合計	11,174,931	11,342,500
無形固定資産		
のれん	105,000	120,000
その他	44,814	41,932
無形固定資産合計	149,814	161,932
投資その他の資産		
その他	1,521,009	1,452,351
貸倒引当金	151,805	151,806
投資その他の資産合計	1,369,203	1,300,544
固定資産合計	12,693,949	12,804,977
資産合計	26,301,413	26,359,016

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,704,268	4,870,156
短期借入金	950,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	38,050	77,000
未払法人税等	125,775	136,760
引当金	213,109	117,436
その他	1,377,425	1,601,510
流動負債合計	7,408,628	7,372,863
固定負債		
退職給付引当金	630,623	669,901
役員退職慰労引当金	150,139	139,396
固定負債合計	780,762	809,297
負債合計	8,189,391	8,182,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,566,178
利益剰余金	14,351,063	14,313,182
自己株式	22,091	12,806
株主資本合計	17,895,150	17,866,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	177,134	85,608
繰延ヘッジ損益	973	-
為替換算調整勘定	38,762	224,691
評価・換算差額等合計	216,871	310,300
純資産合計	18,112,022	18,176,855
負債純資産合計	26,301,413	26,359,016

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	6,486,106
売上原価	5,182,123
売上総利益	1,303,982
販売費及び一般管理費	1,005,383
営業利益	298,598
営業外収益	
受取利息	1,081
受取配当金	9,163
仕入割引	5,858
その他	11,210
営業外収益合計	27,313
営業外費用	
支払利息	2,087
売上割引	3,675
その他	1,482
営業外費用合計	7,245
経常利益	318,666
特別損失	
固定資産除却損	766
瑕疵担保責任履行による損害賠償金	5,333
特別損失合計	6,100
税金等調整前四半期純利益	312,565
法人税、住民税及び事業税	116,981
法人税等調整額	4,193
法人税等合計	121,174
四半期純利益	191,391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	312,565
減価償却費	301,308
退職給付引当金の増減額(は減少)	39,278
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10,743
その他の引当金の増減額(は減少)	95,739
未払賞与の増減額(は減少)	277,854
未払役員賞与の増減額(は減少)	57,500
受取利息及び受取配当金	10,244
支払利息	2,087
有形固定資産除却損	766
売上債権の増減額(は増加)	261,172
たな卸資産の増減額(は増加)	66,974
仕入債務の増減額(は減少)	149,715
未収入金の増減額(は増加)	88,870
その他	64,404
小計	147,694
利息及び配当金の受取額	10,244
利息の支払額	2,070
法人税等の支払額	120,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,589
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	206,995
投資有価証券の取得による支出	596
無形固定資産の取得による支出	5,929
その他	3,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	210,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	380,000
長期借入金の返済による支出	38,950
自己株式の取得による支出	9,284
配当金の支払額	136,348
財務活動によるキャッシュ・フロー	195,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,018
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	320
現金及び現金同等物の期首残高	492,473
現金及び現金同等物の四半期末残高	492,153

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	製紙用薬品事業 （千円）	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業 （千円）	計 （千円）	消去又は全社 （千円）	連結 （千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,676,871	1,809,234	6,486,106	—	6,486,106
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	59,304	59,304	△59,304	—
計	4,676,871	1,868,539	6,545,410	△59,304	6,486,106
営業利益	241,884	56,714	298,598	—	298,598

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本国の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	5,918
II 売上原価	4,760
売上総利益	1,158
III 販売費及び一般管理費	1,023
営業利益	134
IV 営業外収益	17
1. 受取利息	1
2. 受取配当金	4
3. 仕入割引	4
4. 業務受託収入	2
5. 為替差益	2
6. その他	2
V 営業外費用	9
1. 支払利息	3
2. 売上割引	4
3. その他	1
経常利益	142

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
Ⅵ 特別利益	—
Ⅶ 特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	142
税金費用	85
四半期純利益	56